

2. 最近の話題

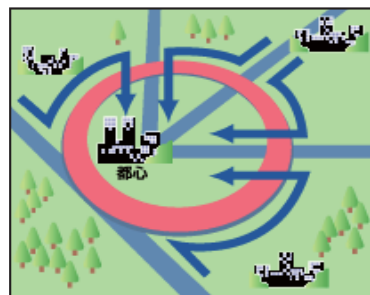
1 東海環状自動車道の進捗状況

- 国道475号 東海環状自動車道は、愛知県、岐阜県、三重県の3県に跨る延長約153kmの高規格道路。
- 中京圏の放射状道路を環状道路で結び、広域ネットワークを構築することで、企業活動の向上、物流の効率化、観光活性化等の様々なストック効果を発揮します。
- 道路の整備により、企業立地等の沿線開発が中長期に進み、**開発の効果は子孫に引き継がれていきます。**
(ストック効果)



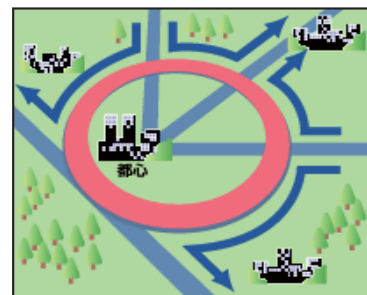
環状道路の機能

■分散導入機能



郊外から都心部への交通を分散導入することで、都心部の交通集中が緩和されます。

■バイパス機能



通過交通の都心部への流入を抑制することで、都心部の交通集中が緩和されます。

■非常時の迂回機能



災害や事故等による一部区間の不通にも速やかに迂回誘導が可能になります。

開通に向け工事が進む 東海環状自動車道(西回り)

山県IC～大野神戸IC:令和6年度開通見通し



1 岐阜山県第一トンネル（仮称）

R4.1月撮影

養老IC～(仮称)北勢IC:令和8年度開通見通し



5 (仮称)海津PA

R4.1月撮影



② (仮称)岐阜IC

R4.1月撮影



3 (仮称)米貫IC

R4.1月撮影



4 (仮称)本巣PA

R4.1月撮影



6 県境トンネル（仮称）

R4.1月撮影



7 (仮称)海津PA南側

R4.1月撮影

旬な現場をご案内します。

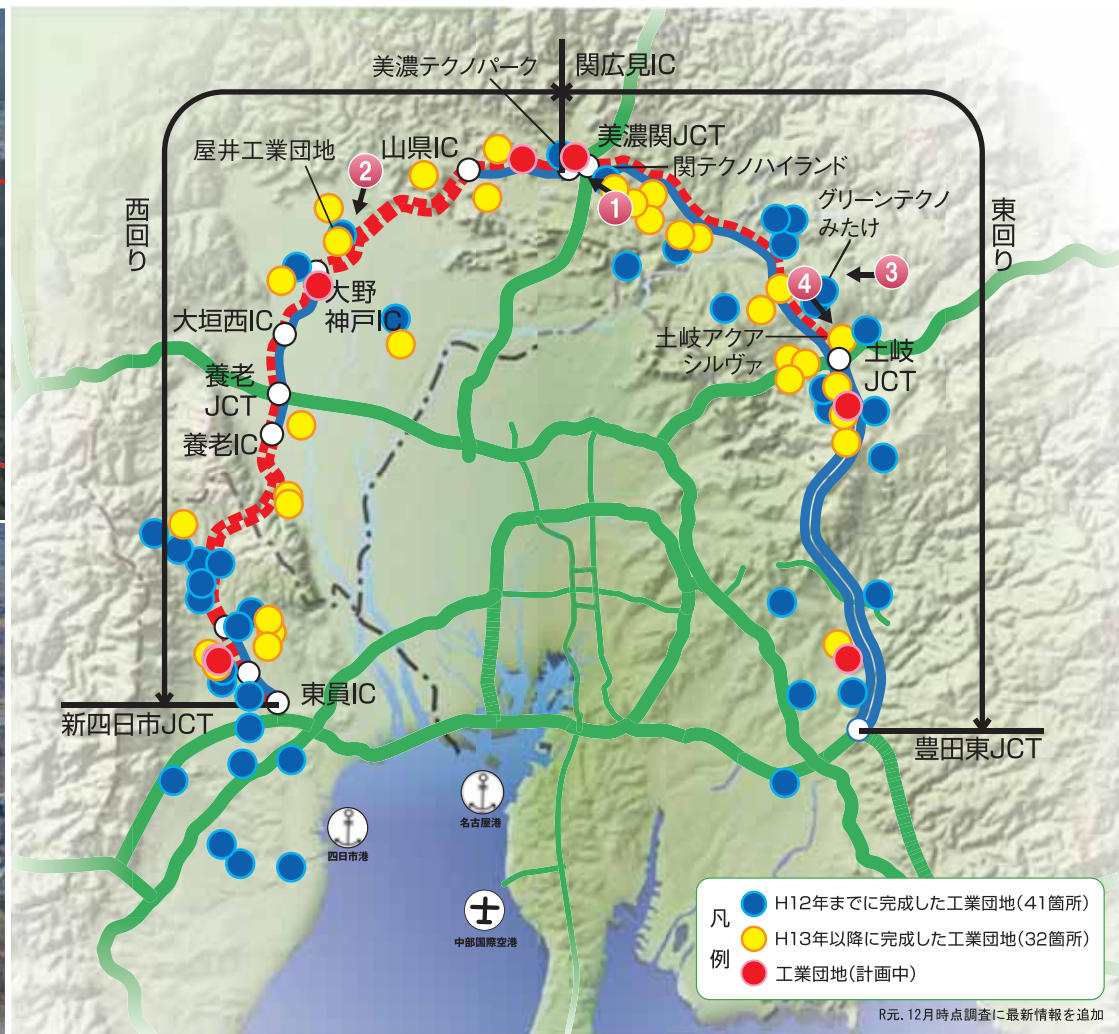
○詳しくは、国土交通省岐阜国道事務所計画課(連絡先:058-271-9815)までお問い合わせ下さい。

2. 最近の話題

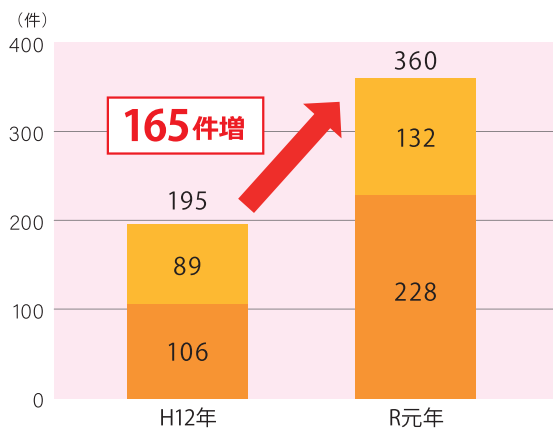
2 ストック効果(民間需要誘発)：工業団地が整備される等、民間需要が誘発

【効果】 ○東海環状自動車道(東回り)全線工事着手後、沿線市町の工業団地の立地企業数が約1.8倍に増加し、165企業が進出、約2.7万人の雇用が創出され、製造品出荷額等が約9.1兆円増加。

【期待】 ○東海環状自動車道(西回り)沿線では、36箇所の既存工業団地に加え、開通を見据えた更なる企業の進出が期待されています。

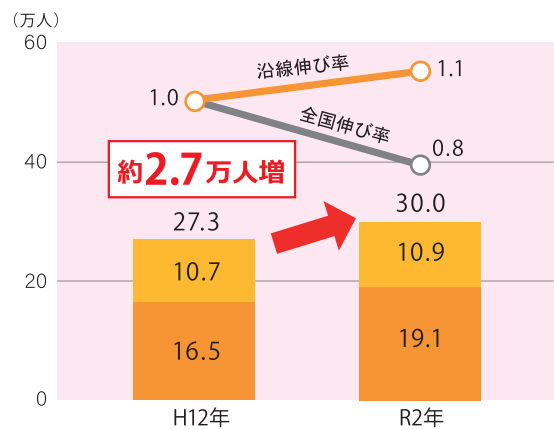


工業団地の立地企業数※1



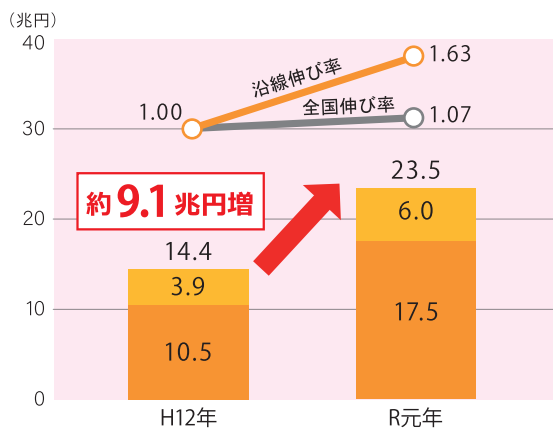
出典: 自治体調査

製造業の従業員数



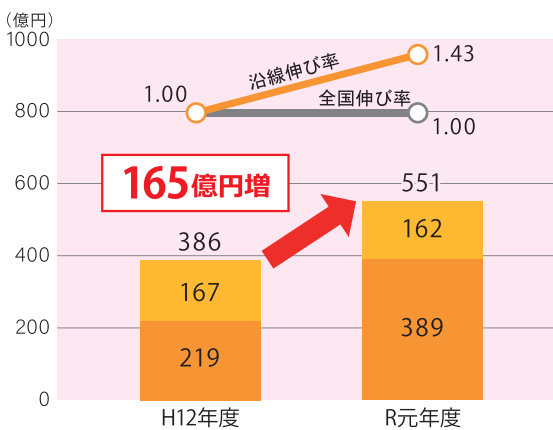
出典: 工業統計

製造品出荷額等



出典: 工業統計

法人税収※2



出典: 地方財政状況調査

※1 R元12月調査時点基準

※2 法人税収: 市町村民税の法人税割と法人均等割の和

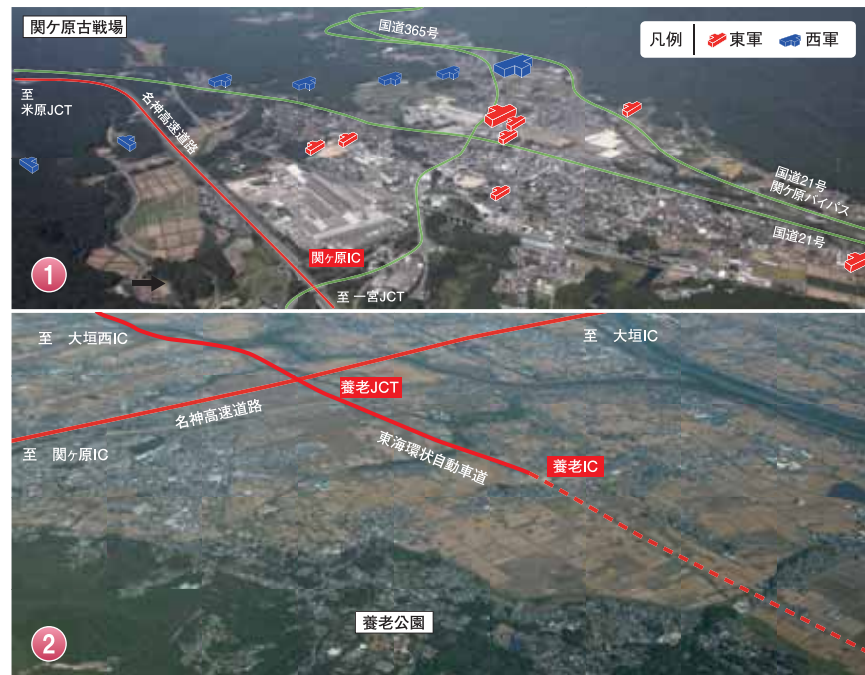
※3 沿線自治体: 東海環状自動車道が通過する市町(東回り: 8市4町、西回り: 7市4町)

2. 最近の話題

3 ストック効果(地域活性化)：自治体のまちづくりが促進し、地域が活性化

【効果】 ○工事が進む西回り沿線では道路の開通を見据え、まちづくりや観光活性化の取組が促進。

【期待】 ○既に通している東回り沿線では、都市公園、商業施設、住宅団地等の整備により、自治体のまちづくりが促進。



2. 最近の話題

4 岐阜県道路メンテナンス会議

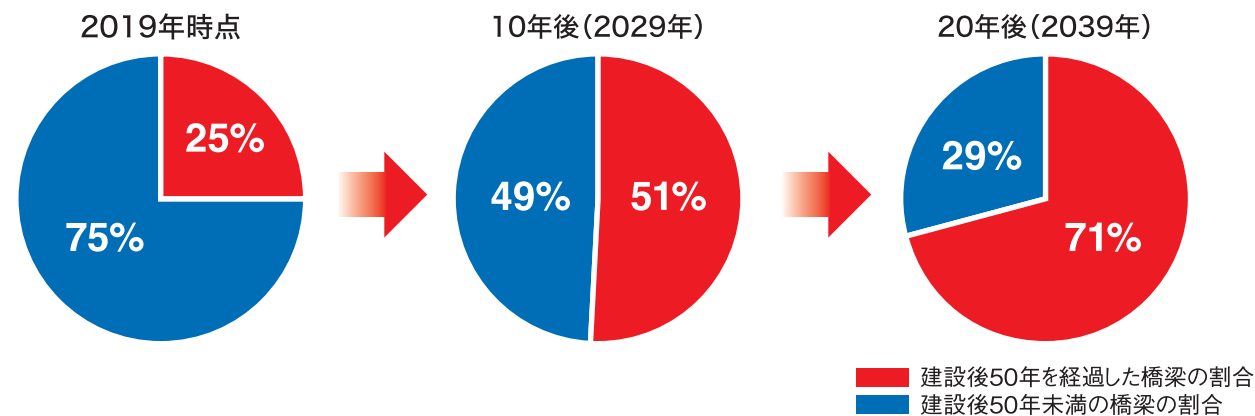
地方公共団体が抱える三つの課題(人材・技術力・予算)に対して、国と県が連携して支援策の検討・活用等を実施します。

● 構成員 国、県、市町村、中日本高速道路(株)の道路管理者

● 設立日 平成26年4月25日

● 岐阜県内の建設後50年を経過した橋梁の割合
(橋長2m以上、2019年時点) 建設年度不明橋梁(14,033橋)を除く

岐阜県には国と県と市町村が管理する橋長2m以上の橋梁は約27,000橋、このうち建設後50年を経過する橋梁が、2019年時点で25%あります。しかし、高度成長期に建設された橋梁が多く、20年後には高齢化した橋梁の割合は71%に急増します。



● 岐阜県管理者別橋梁点検実施状況
(2019年度より5年サイクルの2巡目開始)

	点検対象 管理橋梁数	2020年度迄の 点検実施数	点検実施率 ※2巡目開始 から2年目時点	(参考) 1巡目における 2年目時点の 点検実施率
国土交通省	1,047	466	45%	35%
高速道路会社	693	290	42%	24%
地方公共団体等	25,129	10,581	42%	34%

※2021.3末時点

● メンテナンス技術支援

道路施設の点検・補修に関する技術力向上を目的に講習会を実施しています。

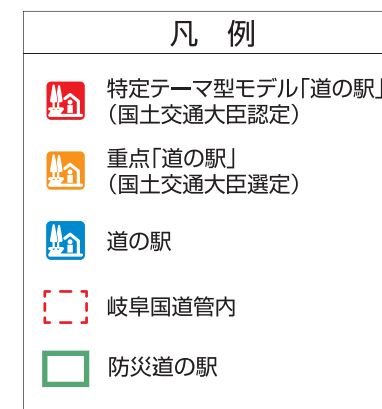


令和3年度橋梁点検補修技術講習会
(R3.11.24)

5 「道の駅」

岐阜県内には、56箇所(R4.3月現在)の道の駅が存在し、全国第2位の数を有しています。現在、災害時の防災機能の強化に向けて、施設整備やBCPの策定を進めています。

● 道の駅「美濃にわか茶屋」における防災機能強化整備状況



特定テーマ型モデル「道の駅」
国土交通大臣認定

特定のテーマについて、「道の駅」の質的向上に資する全国の模範となる取組を行い、その成果が認められるもの

「道の駅」が有する個々の「機能」が異なる点を踏まえ、模範性を高めるために、テーマ(部門)を設定
平成28年度：住民サービス部門 / 平成29年度：地域交通拠点部門

重点「道の駅」
国土交通大臣選定

地域活性化の拠点となる優れた企画があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できるもの

取組を広く周知するとともに、取組の実現に向けて、関係機関が連携し、重点支援

防災道の駅
国土交通大臣選定

都道府県の地域防災計画等で、広域的な防災拠点に位置づけられている道の駅

防災機能の整備・強化を交付金で重点支援・BCPの策定や防災訓練について国のノウハウを活用した支援等の重点支援

トピックス

国土交通省では、国民の皆様へ道路インフラの現状や老朽化対策についてご理解頂くため、点検実施状況や点検結果を「道路メンテナンス年報」としてとりまとめました。

道路メンテナンス年報は、行政関係者による点検結果を踏まえた今後の措置方針の立案だけでなく、大学や民間企業での維持管理分野の分析・研究開発での活用も期待しています。

道路メンテナンス年報は、以下の国土交通省ホームページでご覧ください。

・ http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/yobohozen_maint_index.html